

奈良県立大学附属図書館用 I C タグ及び I C タグ関連機器の購入に係る仕様書

1. 基本要件

1.1 件名

奈良県立大学附属図書館用 I C タグ及び I C タグ関連機器の購入

1.2 業務の趣旨

奈良県立大学附属図書館（以下「当館」という。）において、蔵書の適正な維持管理を図るため、UHF 帯 IC タグ及び エンコード用機器を購入するものである。

1.3 調達品名

- (1) UHF 帯 IC タグ 90,000 本
- (2) エンコード用リーダーライターセット（リーダーライター、バーコードリーダー、制御用 PC、エンコード用プログラム） 1 台

1.4 納入場所

奈良県立大学 附属図書館（奈良県奈良市船橋町 10）

1.5 納入期限

令和 8 年 6 月 30 日（火）

1.6 技術的要件の概要

- (1) 本調達物品に係る性能、機能及び技術等の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、「2. 調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は、全て必須であり、かつ最低限の要求要件を示している。

1.7 その他

- (1) 本調達物品は見積時点で製品化されていることを原則とし、製品化されていない物品を調達する場合は事前に協議すること。
- (2) 受注者の責任において仕様書に示す技術的要件を満たした物品を納入すること。
- (3) 調達物品が本仕様書の技術的要件を満たしていることを対照表にし、提出すること。参照すべき箇所が、カタログ・性能仕様書・証明書等である場合、アンダーラインを付す、色分けする等して該当部分を明示し、提出すること。
- (4) 調達物品に免許登録が必要な場合は、納入期限までに手続きを完了し、適法に作業ができるように準備をしておくこと。
- (5) 導入スケジュール及び納入場所については、本学と協議し、その指示に従うこと。

2. 調達物品に備えるべき技術的な要件

2.1 包括的要求要件

調達物品の全てについて、納入場所に搬入・設置・配線し、当館職員立会いのもと動作確認までの点検を行うこと。

2.2 性能・機能に関する要件

(1) UHF 帯 IC タグ 参考製品又は同等以上のもの

- ① 参考製品 UHF 帯 IC タグ「IDIT-UT-51」
- ② 通信規格は ISO18000-63/EPC Gen2 に準拠していること。
- ③ タグサイズは長さ 100mm×幅 6mm×厚さ 0.4mm 程度とし、片面貼付タイプであること。
- ④ メモリサイズが EPC : 128bits 以上であること。
- ⑤ データ保持期間が 50 年以上であること。
- ⑥ データ書き込み回数が 10 万回以上であること。
- ⑦ ソフトカバーの柔らかい表紙の図書にも貼付できるよう曲げに強い構造であること。
- ⑧ 図書返却ポストへの返却時の衝撃や摩擦を受けてもデータの読み取り、書き込みに支障をきたさない耐衝撃性を有する構造であること。
- ⑨ 図書に貼付された IC タグ同士の間隔が 5～10mm 程度であっても、30 冊の読み取りが可能な積層性を有すること。

(2) エンコード用リーダーライターセット 参考機種又は同等以上のもの

- ① 参考機種エンコード用リーダーライターセット IDIT-RWS-1E (ソフエル)
(リーダーライター+バーコードリーダー+制御用 PC+エンコード用プログラム)
- ② アンテナ、リーダーライター機器、配線コード類等からなり、この他、UHF 帯 IC タグへの書き込み・書き換えが可能なエンコード用プログラム及び書籍用バーコードラベルの読み取りが可能なバーコードリーダーも含めること。
- ③ ISO18000-63/EPC Gen2 に準拠していること。
- ④ 通信周波数は、UHF 帯 (日本国内 UHF 帯 RFID 割当周波数帯域 920MHz) であること。
- ⑤ UHF 帯 IC タグに対して操作でき、UHF 帯 IC タグの特性による原因以外での感知漏れがないこと。
- ⑥ UHF 帯 IC タグ内に格納された資料番号を読み取り可能であること。
- ⑦ リーダーライター装置の筐体は荷重 20kg まで耐えられること。
- ⑧ サイズは W250～300mm×H65～100mm×D250～300mm の範囲内であること。
- ⑨ 電源の ON・OFF ができること。
- ⑩ 附属するエンコード用プログラムは以下の機能を備えること。
 - a) UHF 帯 IC タグを無効化 (再利用不可) できること。
 - b) 資料番号の入力は、バーコードリーダーと、キーボードからの手入力のどちらでも行えること。
 - c) 既にかき込み済の UHF 帯 IC タグについて、その資料番号を表示し、上書き確認を行った上で、上書き入力できること。
 - d) 入力した日時を資料番号とともにログ情報として記録すること。

- e) エンコードしたその日の件数や累計等が分かるように画面に表示すること。
- f) 将来的に当館利用の図書館システム（京セラコミュニケーションシステム CARIN-i）と連携可能な形式で 1.3(1)への書き込みが行えること。
- g) なお当館のエンコードフォーマットは次の仕様とする。

規 格	ISO 準拠
記録内容	ISIL コード、資料 ID、貸出情報(持出可否フラグ)
ISIL コード詳細	JP-1003616（奈良県立大学附属図書館）
資料 ID 詳細	数字 10 桁
貸出情報詳細	数字 1 桁（例 未貸出 0、貸出中 1）
(備考) 1 ISO/TS 28560-4 に準拠します。 2 EPC エリアは、ISIL コード、資料番号、持出可否フラグがエンコードされ、各項目のセパレータはドット（"."）を使用します。 3 URN Code40 にてエンコードします。 4 通信規格は ISO/IEC18000-63/EPC Gen2 Ver. 2 に準拠します。 5 貸出情報詳細については、仕様として定義しますが、実際の運用にて使用するかどうかについては、受注後、当館と協議いただきます。	

- ⑪ 付属するバーコードリーダーは、図書用バーコードを読み取ることのできる機能を搭載すること。

3. 性能・機能以外に関する要件

(1) 保守体制等

- ① 保守受付時間は、祝祭日・年末年始を除く月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時までとし、電話及びメールにて連絡ができること。障害が発生した場合には、遅くとも翌営業日までには処置を開始し、迅速かつ適切に対応すること。
- ② 保守体制表又は障害時の問い合わせ窓口・連絡先一覧を提示すること。
- ③ 納品された機器の保守の期間は納品後 1 年間とし、修理に係る一切の費用を含むものとする。

(2) その他

- ① 機器のマニュアルとして、印刷媒体 1 部と電子媒体 1 部を提供すること。
- ② 本機器の利用者を対象とした導入教育を一度行うこと。